

## 徳田の歴史—28

### —子供の遊び道具—

1/5

◆戦後(昭和 20 年代頃)物資が乏しい中子供たちの遊び道具は自らが考え自作し、創意工夫しそれらを使って楽しむ事でした。

その為には休日にもなると近在の野山や河原に出向き竹等の材料を選び手配することも日課の一つでした。又加工する道具(ナイフ等)も満足な物はなく、これらをも手作りをした事がありました。当時を振り返り代表的な遊び道具の一例を紹介します。尚これらは全て昔の現物ではなく再現品であります。

#### ① 竹ぽっこり



両足を竹上部に乗せて両手で綱を上  
に引き上げながらバランスをとり  
前方にポコポコ音を出して歩く

#### ② 竹とんぼ



手前で両手の平を合わせてとんぼの  
軸を挟み擦りつけるように前に押し出  
す。高く上に飛ばすには水平に、距離  
を出すには少し斜め下に手の平で調  
整すると良い。一番代表的な物で  
した。(飛んだ状態で競争した)

③ ゴム鉄砲

2/5



● 輪ゴムを銃口と引き手上部に2個かけて下部の引手部を的に向かって軽く引く。  
2連発銃。  
(命中率等で競った)

④ ゴムかん



● ゴム中央に木の実、豆、小石等を挟み的に向けてゴムを引き、素早く離す。  
(命中率等で競った)

⑤ 金輪



● 自転車用リムの廃材を利用して竹棒を擦り付けて前に押し出し転がして遊ぶ。

⑥ 凧

3/5



- 竹ひごを利用している  
いろいろな形の凧が作れる。  
バランスは紙のしっぽ  
の長さ調整、糸の張り  
具合等で行う。彩色も  
好みで行う。  
(飛び具合を競った)

⑦ もぐら捕獲器



- 田畑、庭等の もぐらの通り  
道に太さ 6cm、長さ 35cm 位の  
竹筒を仕掛けどちら側から  
でも捕れる様にした。これは  
今は使用していないが最近  
では市販品で音波式撃退器が  
あるようです。

⑧ 竹うま



- 先端部分を両手でしっか  
り持ち両足を足踏み台に  
乗せて手、足でバランス  
を取るように歩く。  
足踏み台位置は高さ調整可。  
(走る競争もした)

⑨ 模型飛行機

4/5



- 紙、木等使ったゴム動力機。折り紙を使った物もいろいろあった。仲間で競技会的なことも実施した。

⑩ 水鉄砲



- バケツ等に水を入れて竹筒先端を水につけ手前の握り部を引き水を吸い上げて再度、的に向けて押し出す。  
(水の掛け合いで遊んだ)

⑪ 小鳥捕獲器



- 畑等に仕掛ける。稲穂を疑似餌として、てんびんの下部に取付けそれを小鳥がつつくと、てんびんが落ち捕れる仕掛けになっている。播いてあるもみ殻は小鳥を呼び込むもの。  
(今これは使っていない)

⑫ 竹笛

5/5



● 竹の長さ、太さ、空気出口の調整等変化させると色々な音が楽しめる。

⑬ 穴釣り道具



● うなぎ捕獲器。長さ1m、太さ2cmくらいの竹の先端に釣針の付いた丈夫な糸をかけ針にはどじょうを付け、竹と糸を同時に持ち川底の石の間に入れ当たりを探す。

◆以上作品事例をいくつか提示させて頂きました。これらの他にも野山や川での遊び道具も含めて、山菜採りや魚貝類捕りも楽しみました。これらの知識や知恵は仲間や地元の先輩方からも学びました。現在ではホームセンター、百均、通販等でお金さえあれば何でも直ぐに手に入る時代になり自作する必要はなくなり大変便利になりました。(参考:地元の先輩等)